

進捗状況がC, Dの指標における現在の取組状況と今後の対応について

指標	現在の取組状況	今後の対応
1 男女共同参画の視点に立った意識の改革、社会制度・慣行の見直し		
市町男女共同参画計画 策定率：D	<p>まんのう町においては、平成 29 年度末で計画期間が終了し、その後計画を策定されていなかったため、計画策定の意義等を説明するなど働きかけを行った。現在、策定作業中であり、今年度中の策定を予定していると伺っている。</p> <p>また、令和 2 年度末で計画期間が終了した 4 市 3 町について、高松市・東かがわ市・三木町は県と同様に現在策定中であり、残り 2 市 2 町（坂出市・善通寺市・琴平町・多度津町）は既に策定済みである。</p>	市町により計画の満了時期が異なることから、県において終了時期を把握し、切れ目なく計画が策定されるよう、引き続き働きかける。
5 政策・方針決定過程への女性の参画の拡大		
県の審議会等に占める 女性員の割合：D	<p>女性委員の割合を定期的に把握するため、女性委員比率の照会を年 2 回行い、その際に目標とあわせて取組みに当たったの考え方を庁内に広く周知した。</p> <p>また、これまで委員改選後に、女性委員の割合が 40%を下回る審議会等及び 40%以上とする目標は達成しているものの、前回より女性委員の割合が下がる見込みの審議会等について、事前協議のタイミングを「委員選任の 1 か月前」までに行うこととされていたが、令和 2 年度からは、より早期に当課に協議することとし、所管課と連携して女性委員の増加を図ることとした。</p>	<p>女性が少ない分野については、委員構成を含めた検討を行うよう所管課に対し強く要請するとともに、委員の推薦を依頼する団体等に対し、所管課から県の考え方を丁寧に説明し女性委員を推薦いただくよう個別に要請するよう働きかける。</p> <p>また、法令による職務指定等（いわゆる「あて職」）の多い審議会についても、計画的に女性委員を増やすよう強く要請する。</p>

指標	現在の取組状況	今後の対応
8 農山漁村での男女共同参画の推進		
女性指導漁業士の新規認定数（累計）：C	<p>女性漁業者が中心となって実施している食育活動やイベントでの販促活動等を計画したが、新型コロナウイルス感染症対策によりすべて中止となった。</p> <p>県内市町を通じて漁協に指導漁業士の推薦を依頼した。</p>	<p>香川県漁協女性部連合会の活動に積極的な漁業者を指導漁業士として認定することで、今後も新規認定の増加に努める。</p>
1 2 生涯を通じた女性の健康支援		
子宮がん検診受診率：C	<p>がん検診受診率向上のため、ポスター・チラシ・啓発グッズの作成やイベントの開催、民間企業のグループとの協働による「がん検診受診率向上プロジェクト」などの広報啓発に取り組んでいる。</p> <p>また、女性のがん対策強化事業において、子宮頸がんについての正しい知識の普及を目的としたマンガ本を作成し、小学6年生、中学3年生及び高校1年生に配布を行うほか、かがわマンモグラフィサンデーに合わせて子宮頸がんの検診車を派遣して受診機会の確保を行い、受診の啓発及び受診しやすい環境づくりを行った。</p>	<p>他のがん検診と同様に、検診受診の重要性を継続して啓発していくと同時に、子宮がん検診は、対象年齢が若く、がんに対する認識不足も考えられることから、若年層への啓発を強化するほか、かがわマンモグラフィサンデーに合わせて子宮頸がんの検診車を派遣して受診機会の確保を行い、受診の啓発及び受診しやすい環境づくりの充実に努める。</p>
乳がん検診受診率：C	<p>がん検診受診率向上のため、ポスター・チラシ・啓発グッズの作成やイベントの開催、民間企業のグループとの協働による「がん検診受診率向上プロジェクト」などの広報啓発に取り組んでいる。</p> <p>また、10月の乳がん月間にあわせ、平日に検診を受けにくい方に対し、休日に乳がん検診を行う「かがわマンモグラフィサンデー」を実施して、受診機会の確保を行い、受診の啓発及び受診しやすい環境づくりを行った。</p>	<p>他のがん検診と同様に、検診受診の重要性を継続して啓発していくと同時に、乳がん検診は、働き盛りの世代の乳がん罹患率が高いことから、かがわマンモグラフィサンデーを実施するなど、引き続き、受診機会の確保を行い、受診の啓発及び受診しやすい環境づくりの充実に努める。</p>